

迎春

年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

平素より総務省の情報通信行政に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、防災・減災に係る対策への取組みを進めた一年でした。昨年12月20日に「防災・減災のための放送利用行動計画」が公表されたばかりですが、長野県内の56の市町村と1の広域連合、7のコミュニティFM放送事業者、15のケーブルテレビ事業者、3の県域放送事業者、11の支援事業者が参加して、大規模災害の発生に備える臨時災害放送局の開設計画がスタートしています。災害時に放送局を臨時に開局しようとする市町村に直ちに免許できるよう、総合通信局は周波数の割当て等をあらかじめ検討し、準備しますが、送信設備が用意できていなければ放送は直ぐには開始できません。また、被災者の生活を復旧するための情報提供を長く続けていくには、周到な準備と様々な応援が必要です。この行動計画では、地域メディアを担う、いわば放送の「プロ」の集団が、推進力になろうとくださることに敬意を表し、また感謝申し上げたいと思います。

この行動計画は、昨年こそ長野県内のプロジェクトとして始まりましたが、新年からは新潟県内へと対象地域を拡げようとしています。長野と新潟では、備えるべき災害の種類も、地理的な条件も、事業者の状況も、違ってきます。しかし、大規模災害の被害を軽減するために、地域メディアに求められる役割に大きな違いはありません。ICTは革新が著しい分野で、日進月歩の進歩を続けていますが、それでも、地域社会から地域メディアに寄せられている期待やその役割は、変わらないように思います。

世界も、日本も、様々な情勢が不透明な中、今年も幕を開けました。そんな中にあっても、情報メディアの多様化や高度化は、この数年加速度を増すように進んできました。メディア環境は、この一年でさらに大きく変化していくことでしょう。少子高齢化や国際化が進む地域社会にあって、地域メディアがこうした課題にどう向き合っていくのか、そして地域はこのメディアをどう育てていくのかを、事業者はもとより自治体の方々とも、大いに考えていく一年にしたいと思います。

今年の年の瀬には、平成25年は24年よりも良くなったと振り返られるよう、信越総合通信局は、微力ながらも全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご支援、ご鞭撻を改めてお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



信越総合通信局長
大橋 秀行

CONTENTS

■年頭のご挨拶	1	■「防災・減災のための放送利用行動計画」の策定を推進	2
■「電波の安全性に関する説明会」を開催	3	■ブロードバンド利活用のための「タブレット・スマートフォン向けアプリ制作講習・体験会」を開催	3
■携帯端末向けマルチメディア放送局に予備免許	4	■お知らせ	4

「防災・減災のための放送利用行動計画」の策定を推進

～第一次を12月20日公表、第二次の策定に向けて～

災害に強靱な地域社会を作るために地域の放送メディアが協力して行動する「防災・減災のための放送利用行動計画（第一次）」の策定に向けて、長野県内のケーブルテレビ事業者、コミュニティFM放送事業者、県域放送事業者、市町村、長野県及び信越総合通信局が平成24年10月22日「防災・減災のための放送利用行動計画連絡会」を発足させ、ワークショップ・セミナーなどの取り組みを積み重ねてきました。

このたび、連絡会メンバーの中で、具体的に臨時災害放送局の開局と公共情報 commons の利用を検討したいとする参加者によって、長野県版の行動計画を確定し、平成24年12月20日に公表しました。

今後、この行動計画の周知広報のため、平成25年1月31日に長野市においてセミナー・ワークショップの開催を計画しており、2月上旬には新潟市でも同様に開催する予定です。

また、新潟県内における計画が加わった行動計画（第二次）を3月末目途に策定の予定です。本行動計画（第二次）では、新潟県の地理的条件等による災害の規模や種類に対し、既存の同県防災無線システムを生かした自助、共助関係を自治体と放送事業者等の間で構築していくこととしています。



行動計画の周知広報ワークショップ・セミナー
(平成24年11月 長野県松本市にて開催)

「防災・減災のための放送利用行動計画連絡会」のメンバー

(平成24年12月20日現在)

地方公共団体	地方公共団体	地方公共団体	コミュニティFM放送事業者	ケーブルテレビ事業者	県域放送事業者	支援事業者
長野市★	御代田町	木祖村	あづみ野エフエム放送(株)	あづみ野テレビ(株)	信越放送(株)	(株)NHKアイテック
松本市☆	立科町	王滝村	飯田エフエム放送(株)	(株)飯田ケーブルテレビ	長野エフエム放送(株)	(株)N T Tデータ
上田市☆	長和町★	大桑村	エルシーブイ(株)	伊那ケーブルテレビジョン(株)	日本放送協会長野放送局	(株)MTS&プランニング
岡谷市☆	下諏訪町	麻績村	(株)エフエム佐久平	(株)インフォメーション・ネットワークコミュニティ		D Xアンテナ(株)
飯田市★	富士見町	生坂村★	(株)エフエムとうみ	(株)上田ケーブルビジョン		(株)電算
諏訪市☆	原村☆	山形村☆	(株)ながのコミュニティ放送	(株)エコーシティー・駒ヶ岳		BAN-BAN ネットワーク(株)
須坂市	辰野町☆	朝日村☆	軽井沢エフエム放送(株)	エルシーブイ(株)		(株)日立国際電気
小諸市	箕輪町	筑北村★		(株)コミュニティテレビこもろ		ホーチキ(株)
伊那市★	飯島町☆	池田町		佐久ケーブルテレビ(株)		(株)メイトコム
駒ヶ根市☆	南箕輪村	松川村		(株)信州ケーブルテレビジョン		山形カンショ(株)
中野市	中川村☆	白馬村★		須高ケーブルテレビ(株)		フキヤ技研㈱
大町市★	宮田村☆	小谷村★		豊科ケーブルテレビ(株)		
飯山市★	高森町★	坂城町		テレビ北信ケーブルテレビジョン(株)		
茅野市☆	阿智村★	小布施町		(株)テレビ松本ケーブルテレビジョン		
塩尻市☆	泰阜村★	高山村		丸子テレビ放送(株)		
佐久市★	喬木村☆	山ノ内町				
東御市★	豊丘村★	木島平村★				
安曇野市	木曾広域連合★		★☆☆印の市町村は、CATV事業者でもある市町村。			
佐久穂町	上松町	長野県	★：自ら設備を保有し、番組制作も行っている。			
南牧村★	南木曾町		☆：自ら設備を保有していないが、番組制作を行っている。			国の機関
軽井沢町	木曾町					信越総合通信局

(問) 防災対策推進室 026-234-9961



「電波の安全性に関する説明会」を開催

信越総合通信局は、12月5日（水）、信越情報通信懇談会（会長 仙石 正和 国立大学法人新潟大学 理事・副学長）との共催で、新潟県長岡市において、地域の方々を対象に電波の安全性に関する正しい知識の普及、理解の向上を目的とした「電波の安全性に関する説明会」を開催しました。

最初に、信越総合通信局の神林喜彦無線通信部長より、電波防護指針に基づき行政と業界団体が一体となって電波の安全利用に取り組んでいることなどが説明され、続いて、京都大学生存圏研究所の宮越順二特定教授より、医学的な見地から「電波と健康 ～研究の現状と国際動向～」という演題で、国際的な研究成果等を写真やデータで示しながら、わかりやすく説明をしていただきました。

長岡市周辺地域の一般の方のほか新潟県内外の無線関係事業者、医療関係者など90名の方が参加され、熱心に聴講されました。

信越総合通信局では、「電波の安全性に関する説明会」を毎年度開催しており、今後も長野県内、新潟県内で開催していくこととしております。

(問) 監視調査課 026-234-9945



説明会で挨拶する大橋局長



講師の説明を熱心に聴講する参加者

ブロードバンド利活用のための「タブレット・スマートフォン向けアプリ制作講習・体験会」を開催

信越総合通信局は、信越情報通信懇談会（会長 仙石 正和 国立大学法人新潟大学 理事・副学長）と一般社団法人テレコムサービス協会信越支部の共催で、12月1日に新潟市内においてブロードバンド利活用のための「タブレット・スマートフォン向けアプリ制作講習・体験会」を開催しました。

長野市内での開催に続いて、第二回目の開催となりましたが、地元企業の幅広い業種の方々に参加され、アプリの開発と地域での利活用に関心の高さが伺えました。

また、山崎研究室のメンバーの丁寧な個別指導により、ほとんどの参加者が作成したアプリをAndroid端末で動かすことができ、歓声が揚がっていました。

本制作講習・体験会に参加された方々が、高速な通信回線をより一層有効活用して、信越地域の事業所、自治体、市民のためのアプリ開発が進むことが期待されます。



アプリの制作に夢中に取り組む参加者

(問) 電気通信事業課 026-234-9936

携帯端末向けマルチメディア放送局に予備免許 ～管内で初めてのサービス開始に向けて～

信越総合通信局は、12月19日、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングに対し、携帯端末向けマルチメディア放送を行う移動受信用地上基幹放送局（長野中継局）の予備免許を交付しました。

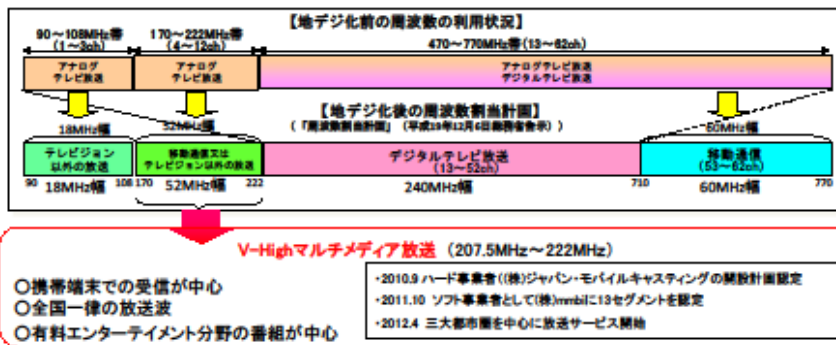
この放送は、地上アナログテレビ放送停波後に空いた周波数帯（V-High、207.5MHz以上222MHz以下）を利用して行う通信と放送が連携した新しいサービスで、同社は、基幹放送局提供事業者（ハード事業者）として、昨年4月から全国で順次放送局（中継局）を開設しており、長野中継局は信越管内では初めてのものとなります。



ジャパン・モバイルキャスティング
永松社長(右)に予備免許を交付

この中継局を利用し、認定基幹放送事業者(ソフト事業者)の株式会社mm b iが運営するスマートフォン向け放送局「NOTTV（ノッティーヴィー）」が、ミュージッククリップやニュース、アニメ、映画情報などの映像の他、電子新聞、アプリケーションなどのデジタルコンテンツを送る従来にはない蓄積型放送や、高画質・高音質のリアルタイム型放送など多彩なサービスを展開します。

全国22都道府県でサービスされており、長野中継局は長野市、須坂市、中野市及び千曲市など約17万世帯を放送区域とし、平成25年2月末の放送開始を予定しています。



(問) 放送課 026-234-9938

申し込み
受付中

【お知らせ】

「ICTを活用した防災・減災セミナー」を開催

1. 日時・会場

平成25年1月31日(木) 10:00～17:00 (受付開始9:30)

メルパルク長野(長野市鶴賀高畑752-8)

聴講無料・定員80名(定員に達した場合、聴講をお断りする場合がございます。)

2. お申し込み・お問い合わせ先

総務省信越総合通信局 情報通信振興室 電話 026-234-9933

※平成24年12月25日付け報道資料をご覧ください。